

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

使用上の注意改訂のお知らせ

2023年11月
東和薬品株式会社

ビッグアナイド系経口血糖降下剤
日本薬局方 メトホルミン塩酸塩錠

メトホルミン塩酸塩錠 250mg/500mgMT「トーフ」

このたび、標記製品の使用上の注意を改訂いたしましたのでお知らせいたします。
今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容 (_____: 追記、_____: 削除)

改訂後	改訂前																												
10. 相互作用 本剤はほとんど代謝されず、未変化体のまま、主にOCT2を介して尿中に排泄される。[16.4、16.5参照]	10. 相互作用 本剤はほとんど代謝されず、未変化体のまま、主にhOCT2を介して尿中に排泄される。[16.4、16.5参照]																												
10.2 併用注意（併用に注意すること）	10.2 併用注意（併用に注意すること）																												
10.2.4 その他	10.2.4 その他																												
<table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを阻害する薬剤</td><td rowspan="6">本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。</td><td rowspan="6">OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを介した本剤の腎排泄が阻害されると考えられている。</td></tr><tr><td>シメチジン</td></tr><tr><td>ドルテグラビル</td></tr><tr><td>ピクテグラビル</td></tr><tr><td>バンデタニブ</td></tr><tr><td>イサブコナゾニウム硫酸塩</td></tr><tr><td>ビミテスピブ等</td><td></td><td></td></tr><tr><td>[16.7.1-16.7.3参照]</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを阻害する薬剤	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを介した本剤の腎排泄が阻害されると考えられている。	シメチジン	ドルテグラビル	ピクテグラビル	バンデタニブ	イサブコナゾニウム硫酸塩	ビミテスピブ等			[16.7.1-16.7.3参照]			<table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>シメチジン ドルテグラビル ピクテグラビル バンデタニブ [16.7.1-16.7.3参照]</td><td rowspan="6">本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。</td><td rowspan="6">これらの薬剤の腎臓での有機カチオン輸送系阻害作用により、本剤の排泄が阻害されると考えられている。</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	シメチジン ドルテグラビル ピクテグラビル バンデタニブ [16.7.1-16.7.3参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	これらの薬剤の腎臓での有機カチオン輸送系阻害作用により、本剤の排泄が阻害されると考えられている。					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを阻害する薬剤	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを介した本剤の腎排泄が阻害されると考えられている。																											
シメチジン																													
ドルテグラビル																													
ピクテグラビル																													
バンデタニブ																													
イサブコナゾニウム硫酸塩																													
ビミテスピブ等																													
[16.7.1-16.7.3参照]																													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
シメチジン ドルテグラビル ピクテグラビル バンデタニブ [16.7.1-16.7.3参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	これらの薬剤の腎臓での有機カチオン輸送系阻害作用により、本剤の排泄が阻害されると考えられている。																											

2. 改訂理由（自主改訂）

相互作用相手薬の記載との整合性を図るため、改訂いたしました。また、記載整備を行いました。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会の医薬品安全対策情報（DSU）No.322（2023年12月）に掲載の予定です。

最新の電子添文は、医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)及び弊社「東和薬品医療関係者向けサイト」(<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/product/>)に掲載いたします。

また、専用アプリ「添文ナビ」で下記GS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。

250mgMT



(01)14987155138105

500mgMT



(01)14987155245063

製造販売元

東和薬品株式会社

大阪府門真市新橋町2番11号

【製品情報お問い合わせ先】

学術部DIセンター

TEL 0120-108-932

○●医療関係者向けメール配信サービスのご案内●○

電子添文改訂等の適正使用情報に関するウェブサイト
更新情報をメールにてお知らせいたします。

<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/mail.html>

